

令和元年度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 聖母会
横浜市深谷俣野地域ケアプラザ

社会福祉法人 聖母会

基本理念と基本方針

「愛と真理に基づき最も困っている人々に手を差し伸べる」

援助を必要としている人々すべてに福祉活動を行ってきた創立の精神を保持し、時代の変革の中で社会のニーズに応じてその使命を果たす。

1. 利用者本人を尊重し、個々のあるべき人生の支援に努める。
2. 地域関係機関と連携し、地域福祉の向上に努める。
3. 法人の理念に基づき、質の高い職員を育成する。

理事長 塩塚 俊子

目 次

令和元年度年間大目標の振り返り	1
地域の現状と今後の方向性について、施設の適正な運営について	3
全事業共通	4
地域包括支援センター事業	10
居宅介護支援事業	16

別 表 目 次

別表 1 月間目標と反省（各部署）	17
別表 2 防災訓練実施結果	23
別表 3 研修参加者一覧	24
別表 4 自主事業報告（地域交流・地域包括・生活支援）	27
別表 5 地域包括支援センター相談受付件数	32
別表 6 地域包括支援センター訪問実施件数	33
別表 7 介護予防プラン給付管理・新規契約者状況	34
別表 8 居宅介護支援事業実績	35
別表 9 令和元年度決算書類	36

令和元年度 横浜市深谷俣野地域ケアプラザ振り返り

[地域交流]

小地域ごとの特性を踏まえた支援を行いました。地域の福祉保健の拠点としてのケアプラザをさらに多くの方々へ周知するため様々な自主事業を開催しました。その中で新たな課題を見つけることができました。地域の声から新しく歌のひろばを立ち上げ、ボランティアの活動の場の提供にもつながりました。また5職種間で連携し情報共有を密に行なったことで、業務を円滑に進めることができました。

[地域包括支援センター]

3職種のうち、2職種が異動と新採用で配置され、地域包括支援センターの概要や役割を研修や実際の現場を通して体感しています。まだ個々が持っている力を発揮できていない場面もありましたが、3職種会議や活動の中で情報共有や振り返りをしながら、今年度は地域の金融機関や小売店等と新しい関係性が構築できました。

[居宅介護支援]

ケアプラン件数は前半は伸び悩みましたが、後半は計画に近い件数に達する事ができました。地域包括支援センターと行政、他事業所と連携がとれたことで情報共有や相談受付後すぐの対応、同行訪問が行えました。家族と利用者の意向が合わず、サービスに繋がらないケースもありました。

[生活支援体制整備]

地域特性の把握や関係作りが十分ではない自治会町内会を重点的に訪問し、得られた情報を5職種間で共有をしました。また集いの場に訪問し、活動状況の把握や居場所が充実するための支援として、健康寿命の延伸をテーマにしたミニ講座や防犯等に関する情報提供等を行いました。

令和元年度 事業報告

地域の現状と今後の方向性

本年度、個別とエリアのそれぞれ1回ずつ地域ケア会議を実施した。「独居認知症高齢者の支援」を金融機関やスーパーと連携して行い、介護保険サービスにつなげることができた個別地域ケア会議の事例は、区レベルの地域ケア会議で発表した。このケースが契機として、金融機関やスーパーと関係性の構築ができ、心配な高齢者はケアプラザに相談すると言う道筋を立てることができた。

介護予防、健康寿命延伸のために、自治会、医療機関との共催で健康教室を行うと同時に、エンディングノートやもしも手帳の普及に努めた。健康教室で収集したアンケート集計と、総合相談や記録を基に生活背景から見える課題を抽出し、包括エリア地域ケア会議と協議体を開催した。次年度継続して、課題解決のための資源の開発を自治会と共にしていく。

ふう～まあケアプラザ祭りでは、雨にも関わらず、自治会や障害、医療、NPO関係等ボランティア活動団体の協力を得て開催、来場者へケアプラザの活動やハートプランの周知を行うことができた。

次年度に向けて、ふう～まあネットワークをさらに拡げ事業を展開していく。

施設の適正な運営について

■公正・中立性の確保について

居宅介護支援事業所でケアプランを作成する際、「ハートページ」「戸塚区介護サービス事業所一覧」を活用し、地域包括支援センターから予防プラン・介護予防ケアマネジメントを委託する際、「ハートページ」「戸塚区内居宅支援事業者ケアプラン対応可能件数一覧表」を活用し、特定の事業所に偏らないように努めた。

自主事業や貸館の申し込み等は、横浜市地域ケアプラザ施設利用マニュアルに準拠した社内ルールを設け、公正・中立に行うように努めた。

■コンプライアンスへの対応について（事故防止、個人情報保護等）

事故が発生した際には当日に、事故原因と対策を検討し、再発予防に努めた。

同法人施設と合同で、5月に「事故防止（リスクマネジメント）について」の職場研修を実施した。今年度は、個人情報漏洩事故はなかったが、行政機関宛てのFAX誤送信が発生し、行政への事故報告とFAX送信時の注意点として個人を特定できる箇所は削除、ダブルチェック等を職員間で再度徹底するよう周知した。

4月に同法人施設と合同で「個人情報保護について」の職場研修を実施した。

5月に個人情報保護についての職場研修を実施し、「個人情報保護に関する誓約書及び研修実施報告書」を区へ提出した。

また、9月と10月に区福祉保健課が開催する個人情報取扱い研修に参加した。

全事業共通

■相談・支援

【目標】

地域の身近な相談者として、高齢者、子ども、障害児・者、生活困窮者等の対象を問わず、本人又はその家族等の相談を受けとめるとともに、適切な支援、もしくは関係機関等につなげることができている。

《地域ケアプラザの相談機能の周知》

(具体的な取組内容)

民生委員児童委員協議会や地域の老人会、各住民グループ等の団体等の活動の場に出向き、ケアプラザの機能の周知に努める。5職種で連携し、相談機関としてのケアプラザをより多様な場で周知していく。

(振り返り)

- ・今年度、新しく、横浜銀行との連携取り組みができ、銀行のロビーで出張講座を開催し、銀行を利用する一般住民にもケアプラザの周知に努めた。
- ・地域で行われている精神障害者居場所や子育て活動に参加し、ケアプラザの周知に務めた。

《潜在化しているニーズの把握》

(具体的な取組内容)

窓口や電話相談のみでなく、民生委員児童委員協議会や老人会など、地域における各会合の場等で、情報の把握を行い、地域住民との情報共有を行う。また、社内では、グループソフトウェアを活用、5職種会議等を隨時開催し、連携することで一体的な支援を行う。

(振り返り)

- ・シニアクラブや自治会、民児協等、団体や地域のニーズにおいて、5職種が役割分担をして、出張講座等を開催し、住民との情報共有を行った。
- ・訪問時に、高齢の親と同居する就労していない引きこもりがちの子供の存在を確認することが増え何かの時にすぐに動けるよう、所内、民生委員、区の地区担当と情報を共有している。

《必要な情報の提供》

(具体的な取組内容)

相談における十分な情報提供が行えるように、職員会議等を活用した制度学習や情報共有、社会資源リストの作成や活用を行うと共に、区や各関係機関とも隨時連携し、地域住民に十分な情報提供を行えるように努める。

(振り返り)

- ・地域で幅広く活躍している「夢みん」や「ふらっとステーション」等を訪問し、活動内容を把握して、相談に来られた必要な人へ情報提供を行っている。
- ・高齢者や子育ての情報提供はできているが、相談がほとんどない障害関係に関しての社会資源のリスト等が整っていないので整備をしたい。

■地域アセスメント

【目標】

地域ケアプラザで行う全ての取組を通じて、「地域の情報（基礎情報・社会資源）」と「課題（個別・地域）」を継続的に把握・分析し、地域ケアプラザ内や関係する専門職、地域住民等でそれらの情報を共有することができている。

《「地域の基礎情報」の把握》

(具体的な取組内容)

- ・地域で行われる行事に参加したり、老人会の集まりや講座開催を通して、また住民からの総合相談等の場を活用し、地域アセスメントを行う。
- ・5職種でも情報共有ができるよう、5職種会議等の場を活用し、情報の共有に努める。

(振り返り)

- ・5職種で自治会や老人会の講座開催（3自治会 計5回）や地域行事（9自治会 計11回）に訪問し、地域で行われている活動等について情報を得ることができている。
- ・月1回 5職種会議を開催し、各部署の予定や課題、地域情報等の共有や年間予定表を更新している。

《相談内容の分析及び地域課題の把握・明確化》

(具体的な取組内容)

- ・窓口・電話・関係機関・民生委員より寄せられるあらゆる相談からの課題の把握を行う。また、得た、個別課題や地域課題については、よりスムーズな地域作りにつながるよう、5職種にて情報共有を行うように努める。

(振り返り)

- ・ケアプラザに寄せられた相談は、個別支援から地域課題の抽出を行えるように7月より自治会別に集計をしている。
- ・地域住民や関係機関から寄せられる相談や情報の中で、地域課題に繋がる内容は5職種で共有をしている。

■住民主体の地域づくりの推進体制の構築

【目標】

地域の情報やニーズから地域支援方針及び地域支援計画を決定し、地域住民に地域ケアプラザ、区役所、区社協等の専門職が寄り添いながら、一体となって地域づくりを行う体制が構築されている。

《地域住民との情報・課題等の共有》

(具体的な取組内容)

- ・地域で行われている行事やサロンへの訪問、地域のキーパーソンにヒアリングを行う等、地域アセスメントを実施し、地域特性を把握する。
- ・情報共有のために5職種会議等を定期的に行い、地域支援計画を作成し支援方針、役割を明確にし支援する。

(振り返り)

- ・H29年7月にケアプラザが開所し、地域訪問や相談、支援を通して周知や地域との関係作りを積み重ねてきた結果、地域住民からの情報収集は進められている。地域支援方針及び地域支援計画については、次年度に向けて見直し、作成をしていきたい。

《目指す地域像の一致》

(具体的な取組内容)

- ・地域アセスメントシートの作成、情報の可視化（グラフ、表化・マップ化・分類等）等を行い、地域住民や5職種で情報共有を行う。またニーズを把握した地域等で協議体開催に繋げる。

(振り返り)

- ・1自治会で地域ケア会議と協議体を合同で開催し、総合相談記録を基に住民の生活背景から読み取れる課題をグラフ化し、地域住民や医療機関、住宅管理関係者等と課題の共有と地域資源創出（居場所づくり）に向けた方向性の確認を行った。

■社会資源の開拓・開発・支援

【目標】

地域アセスメント等を通じて把握される「地域課題」に基づき、必要となる社会資源が創出・継続・発展されている。

《既存の取組の支援》

(具体的な取組内容)

- ・訪問や振り返り、課題共有の場を設置し、情報共有を行う。また活動に必要な助成金や制度、地域の情報提供など必要な支援を行う。

(振り返り)

- ・地域で行われているサロンに定期的に訪問し、地域や運営に関する課題を共有する機会を設け、内容に応じて、5職種、区、区社協等への相談や振り返りの場を設けている。
- ・団体の共通課題としては、担い手不足が挙げられているため、ボランティア募集の工夫を団体と検討していきたい。

《新たな取組の創出》

(具体的な取組内容)

- ・特に高齢者の生活に密着している企業等への事業の働きかけや協力依頼、周知を行う。
- ・エリアの地域ケア会議では、自治会、医療機関、住宅供給公社、保全協会等が参加し、それぞれが地域貢献としてできることを話し合った。
- ・地域貢献に関心のある介護施設と自治会主催のサロンの見学に行くなどの働きかけを行った。次年度も引き続き、介護施設や企業等の地域貢献への働きかけや他のエリアの連携について情報を収集し参考にしたい。

《担い手の発掘・育成》

(具体的な取組内容)

- ・ボランティア養成講座を開催し地域活動団体、介護施設等とのボランティアのマッチングを行う。
(振り返り)
- ・年1回（3月実施予定）ボランティア養成講座を開催し、介護施設等とのマッチングを行うために受入施設等にも参加を呼び掛ける予定だったが、感染症拡大防止のため事業が中止となった。
担い手の確保に繋がるように、次年度も開催を行う。

■ネットワークの構築・支援

【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、住民、専門職、関係機関を含む多様な関係者（個人、組織及び団体）が、必要な情報や各自が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有することができるネットワークが構築されている。

《地域活動を行う地域住民等のネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

- ・自治会や町内会に、ケアプラザの事業（ケアプラザ祭り等）への協力を呼びかける他、地域の行事（防災訓練や夏祭り等）にも積極的に参加し、ネットワークの構築を行っていく。
(振り返り)
- ・5職種が連携して、各町内会や自治会への行事参加や講座開催を行い、ネットワークの構築に務めた。
- ・今年度、シニアクラブがなく、相談件数が多い自治会を焦点化し、定期的に出張講座を開催し、地域課題についてケア会議を行い、次年度、自治会とケアプラザで活動を広げていくことを確認した。

《専門的なサービス提供を行う専門職等のネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

- ・事業所訪問等の際に、地域の情報やケアプラザで行う事業等を案内する他、事業所が抱える課題を共有する。
- ・多職種で行う事例検討会等を開催し、課題解決に向けて事例を積み上げ、スキル向上とネットワークの構築を進めていく。
(振り返り)
- ・最近、訪問時によく見かける「高齢者の親と就労していない子ども」世帯で、背景に「うつ」や「統合失調症」等の精神障害等の疾病が伺える。
- ・3月に精神保健福祉士を講師に、「精神障害の方に対する視点の整理」をテーマに、多職種を対象とした講座を行う予定だったが、新型コロナウィルス感染症拡大防止のために中止となった。
次年度に延期して開催する。

《地域住民等と専門職等のネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

- ・医療職も含めた多職種+活動団体(地域住民)連絡会を継続的に開催し、ネットワークの構築を図る。

(振り返り)

- ・包括エリア地域会議では「地域の見守り支援」をテーマに、2カ所の医療機関が参加。医療機関として、地域に出向いて、実情を把握することが必要との認識を得たとのこと。今後、無料巡回バスの停車場所も見直し等、地域支援のために協力を得られることになった。

■地域ケアプラザの場を生かした支援

【目標】

子どももや高齢者、障害者等、地域に暮らすすべての人たちが、孤立することなく地域の一員として、自分らしく支え合って暮らせるよう、地域ケアプラザの「場」を生かしながら、地域課題の解決に寄与することができている。

《自主事業の実施》

(具体的な取組内容)

- ・地域との関わりの中やアンケートの実施等により地域課題を抽出する。
 - ・地域の福祉保健団体の自主的な立ち上げに協力しその後の活動も情報提供等で継続的に支援する。
- (振り返り)
- ・抽出した課題を整理し見えてきたのは、地域のあらゆる世代や世帯の交流や居場所の不足。その課題解決のアプローチとして子育てサロンにカフェを併設した。賑わいはいまだ大きくはない為周知に工夫が必要と思われる。
 - ・自主事業の「絵手紙教室・たんぽぽ」の活動が2年目に入り、団体の中での個人個人の関係も深まったようである。ケアプラザの施設利用目的と登録について説明し理解を得ることができ、令和2年度に自主化することが決まった。その後の活動が円滑に進むよう継続して支援をしていく。

《福祉・保健活動団体等が活動する場の提供》

(具体的な取組内容)

エリア内のボランティア組織の支援、ボランティアニーズの把握をする。

(振り返り)

- ・利用者や地域の団体とのかかわりの中でいくつかのボランティアニーズを把握し、ボランティア活動をする場につなぐことができた。
- ・活動がより豊かで継続可能であるためにも、それぞれの方の考え方や思いをくみ取る事、ボランティア同士が想いを分かち合う横のつながりを支える事が大切である。

■職員体制・育成

【目標】

全事業共通及び地域包括支援センター事業、介護保険事業の目標の達成に向けて、必要な資質を備えた職員が適切に育成・配置されており、必要に応じて職員間の十分な連携が行われている。

《育成計画の作成とその達成》

(具体的な取組内容)

業務に必要な研修や資格取得のため、業務命令による研修参加体制にする。

(振り返り)

- ・地域包括支援センターに新しく、社会福祉士と看護師が着任し、積極的に研修会に参加。ケアプラザや地域包括支援センターの役割、地域との関りについて学んだ。また、主任ケアマネジャーや、地域交流コーディネーターや生活支援コーディネーターと共にエリアの情報収集や地域活動を行った。

《職員の連携体制の構築》

(具体的な取組内容)

- ・業務に必要な研修や資格取得のため、業務命令による研修参加体制にする。

(振り返り)

- ・職員異動により、衛生管理者資格を有する職員が着任。職場内で感染症対策等、具体的な安全衛生に関する助言や学習会を行った。
- ・今後、貸館利用者等に向けての情報提供も行っていきたい。また、福祉避難所運営や防火管理者研修等も受講し、職員に伝達研修を行っている。

■区行政との協働

【目標】

地域ケアプラザと区役所が、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、個別課題や地域課題の解決に向けて、効果的な役割分担のもと、協働して取り組むことができている。

《地域ケアプラザと区役所の良好な関係性の構築》

- ・互いの業務目標や課題を理解・認識できるようにコミュニケーションを密にとり、「顔の見える関係」を構築する

(振り返り)

- ・月に一度、地区社協役員会に出席、その後の地域連携チーム会合により継続して連携をとることができた。
- ・地域の行事などでは、区の関係部署との連携により地域に住む方々へのハートプランの周知を進めた。アンケートも3回実施。その結果を次年度のハートプラン推進に役立てていく。

《地域福祉保健計画の推進》

(具体的な取組内容)

互いの業務目標や課題を理解・認識できるようにコミュニケーションを密にとり、「顔の見える関係」を構築する

(振り返り)

- ・月に一度、地区社協役員会に出席、その後の地域連携チーム会合により継続して連携をとることができた。
- ・区役所との定例カンファでは、個別ケースや自主事業の情報共有の他、地域情報の共有も行い、課題に向けて協働して、効果的に取り組むことができ、次年度も継続する。

地域包括支援センター事業

■認知症支援事業

【目標】

認知症の人がその意思を尊重され、できる限り住み慣れた環境の中で暮らし続けることができている。

《認知症の正しい理解の促進》

(具体的な取組内容)

認知症サポート-養成講座を開催することで、認知症の方への対応をはじめとして理解の促進につなげる。

(振り返り)

- ・新しく着任した地域包括支援センター職員も、横浜市認知症キャラバンメイト養成研修を受講し、包括3職種がキャラバンメイトに登録。認知症に対する理解を深めたうえで、地域住民や企業向けの認知症サポート-養成講座を開催した。
- ・次年度も、様々な地域住民を対象に、養成講座の開催機会を増やすことを目標とする。

《認知症の人と家族が安心して過ごせる地域づくり》

(具体的な取組内容)

地域のスーパーへの認知症養成講座開催の提案や、認知症の方と家族が過ごせるための社会資源の情報収集に努め、地域住民へ提示していく。

(振り返り)

- ・地域住民や企業(銀行)向けの認知症サポート-養成講座を開催することができた。
- ・次年度は認知症の家族を介護する介護者の集いを定期的に開催する。

《認知症の早期発見・対応》

(具体的な取組内容)

総合相談や民生委員などを通じて、認知症が疑われる方の早期発見、対応に努める。区や医療機関をはじめ、各関係機関とも隨時連携し、継続した適切な対応を行う。認知症の方の権利擁護のための講座の開催。

(振り返り)

- ・認知症初期集中支援チームと連携し、該当者の生活改善に務めた。
- ・地域ケア会議や地域での医療講座開催時に、地域住民や各関係機関と早期発見・早期対応を周知することができた。
- ・次年度も地域や各関係機関と連携し早期の対応を進める。

《切れ目のない支援体制の構築》

(具体的な取組内容)

認知症の方の権利擁護のための講座の開催や家族への適切な支援を行うための体制づくりを目指し、支援者への勉強会や連携の場を確保するべく検討していく。

(振り返り)

- ・地域の医療講座や権利擁護事業で開催した成年後見制度の講座において、認知症の方への支援体制を周知することができたが、機会が少なく十分とは言えなかった。
- ・地域のサロンや配食サービス、工務店等、4カ所の団体に、見守りネット協力事業所としての申し込みを依頼し、理解を得て登録をしていただけた。

■権利擁護業務

【目標】

- ・高齢者虐待の未然防止や早期発見および適切な対応を実現することができている。
- ・認知症等により自己の判断のみでは意思決定に支障のある高齢者等の権利や財産が守られている。

《高齢者虐待の未然防止及び成年後見制度の利用促進》

(具体的な取組内容)

- ・成年後見制度や消費者被害についての講座は、興味をひきやすいテーマと一緒に開催したり、老人会等の既存の会等を活用した周知啓発を検討する。

(振り返り)

- ・今年度は「成年後見制度」だけではなく、身近な問題である「相続」についてのテーマを盛り込んだ講座を開催した。参加者は十数名と少なめであったが、個別相談会も行い、個々に合わせた対応ができた。

- ・次年度は集客にも工夫し、幅広い年齢層で受け入れられる講座を開催する。

《早期発見・適切な対応》

(具体的な取組内容)

必要であれば緊急性判断シートや区との定期的なカンファレンスの場等を活用し、区や各サービス事業等と隨時連携を取り情報収集の機会を設けて対応に努める。地域住民に分かりやすい権利擁護に関する講座の開催を実施する。今年度はエンディングノートに関する講座開催も予定。

(振り返り)

- ・地域住民や介護施設、ケアマネジャーからの相談を、区との定例カンファレンスで、情報共有を行い、適宜各サービス事業者と隨時連携をとり、訪問や受診同行等を行い、権利擁護の対応に努めた。
- ・エンディングノートに関する講座は、機会がなく開催することができなかつたが、区で開催したエンディングノートの講座や書き方講座を案内し、参加して頂いた。
- ・次年度は、相談時や担当者会議やイベント等の機会を使い周知していく。

《養護者への支援》

(具体的な取組内容)

老人会などの既存の会で、介護保険制度の利用促進を目的とした講座開催等を実施。既存の当事者組織と連携をとりながら、養護者のリフレッシュのための事業や勉強会などを開催し、養護者の支援を図る。

(振り返り)

- ・地域の医療講座等で介護保険制度の利用促進を周知することができた。
- ・養護者のリフレッシュ事業(ハンドマッサージ)は参加者が少なく、次年度は内容や開催時期、開催時間帯の工夫が必要。
- ・リフレッシュだけでなく、心身ともに養護者支援が必要な人のために、次年度は、介護者のつどいを開催する。

《消費者被害への対応》

(具体的な取組内容)

消費者被害の未然防止に力を入れるために、民生委員をはじめとする地域住民や交番情報、消費生活総合センターからの情報収集を適宜行い、どのような被害が発生しているのか把握に努める。講座開催や広報、掲示板等を活用し注意喚起を図る。

(振り返り)

- ・警察の防犯メールや消費者被害の研修を国民生活センター見守り新鮮情報(メール)を活用し、広報紙への掲載や掲示板等に添付し注意喚起を行った。
- ・社会福祉士として高齢者の消費者被害についての研修で、最新情報を把握し理解を深めた。
- ・次年度も新民生委員を始め、地域に消費者被害未然防止への周知を継続していく。

■包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【目標】

ケアマネジャーと地域をつなぐための支援を行い、ケアマネジャーが、高齢者の生活全体を丸ごと(包括的)、どのような状態になっても切れ目なく(継続的)支えることができるケアマネジメントを実践することができている。

《ケアマネジャーについての地域の理解の促進》

(具体的な取組内容)

地域のシニアクラブへの講座や、町内会の一般開放日に「ケアプラザ出張相談会(仮)」と称して地域に出向き、ケアプラザ介護保険制度やサービス内容、ケアマネジャーの役割を伝えていく他、参加者から、地域情報の収集や地域の課題把握を行う。

(振り返り)

- ・地域のサロンや出張講座で、介護保険に関する制度やケアマネジャーの役割を分かりやすく説明し近隣で支援が必要だと思える方の情報収集を得て、支援につなげることができた。
- ・介護保険サービスを利用する際に「できることできないこと」を事前に利用者に周知することで、ケアマネジャーが自立を引き出すケアプランが作成できる。

《ケアマネジャーについての地域の理解の促進》

(具体的な取組内容)

ケアマネ連絡会や担当者会議等で、活動団体が作成している団体の案内や月間予定表等を、インフォーマル情報として配布し周知に努める。

「サービスB」登録団体のサービスを利用している対象者に関しては、登録団体と情報交換し、

担当するケアマネジャーに、事業の説明を行い、ケアプラン作成時に該当サービスを反映するよう助言を行う。

(振り返り)

- ・「サービスB」を利用している利用者の担当者会議には、活動団体も参加できるようケアマネジャーに助言し、双方ができない所を補いながら、利用者支援を行うことができている。
- ・今後も、新規で様々なインフォーマルサービスを利用することで、ケアプランに幅が持たせられるよう、ケアマネジャー支援を行っていく。

《関係者とのネットワークの構築》

(具体的な取組内容)

大正西地区民児協研修担当から依頼を受け、民生委員・児童委員向けに、毎年4月に地域包括ケアシステムの啓発に関する講座を行う。

ケアマネジャーと民生委員の関係性の構築を図るために、年1回行っている「民生委員とケアマネジャーの連絡会」を継続する。

(振り返り)

- ・11月に、戸塚警察を招いて「区の犯罪情勢と高齢者が取り組む身近な防犯」についての講話を受け、その後、ケアマネジャーと民生委員で「見守り支援について」情報交換を行い、お互いの関係構築の必要性について意識を高めることができ、次年度以降も継続して開催予定。

《ケアマネジメントの質の向上》

(具体的な取組内容)

事例困難ケースへの支援として、個別ケースカンファの開催や同行訪問を行う。

ケアマネジャーのスキルアップを図るため、事例検討会を含め、年4回のケアマネ連絡会を開催する。

(振り返り)

- ・認知症や精神障害で対応が困難なケースや、家族対応が難しいケースについては、同行訪問やケアプランの見直しを助言した。
- ・ケアマネ連絡会での事例検討は、ケアマネ自身が利用者や家族に対するアプローチの仕方やチームで対応していく重要さを改めて確認できる機会を提供できた。次年度以降も継続して開催予定。

■在宅医療・介護連携推進事業

【目標】

個別課題や地域課題の解決に向けて、医療機関と介護事業所等（個人、組織及び団体）が、その日常の中で、必要な情報や各々が抱える問題・課題等を、互いに円滑に共有し、一体的な支援・サービスを行うことができるネットワーク・連携体制が構築されている。

《区医師会、在宅医療連携拠点との協力体制の構築》

(具体的な取組内容)

医療機関、自治会と連携し、地域住民向けに「ケアプラザ」や「もしも手帳」周知等のため講座を開催する。

講座後のアンケートを通して、地域住民のニーズや地域課題を抽出し、自治会や医療機関と共に共有し、課題解決のための支援体制を考えていく。

(振り返り)

- ・医療機関が地域に出て行くために、協働で出張講座の開催を行い、地域課題や課題解決のためにできる支援について共に考えた。次年度も、課題解決に向けて連携していくことを確認した。
- ・医療局から配布された「もしも手帳」を地域に周知するために、来所相談者だけでなく、シニアクラブや見守り昼食会、民児協、ケアマネ連絡会等、機会があるごとに説明を行い、地域に500冊以上配布した。

《医療や介護の関係者と連携したケアマネジメントの実践》

(具体的な取組内容)

エリア内の医療機関や薬局を個別訪問し、ケアプラザの周知のために広報誌を配布する他、地域情報を共有する。

ケアプラザ協力医や協力薬局と、ケアマネジャーの情報交換会を開催する。

(振り返り)

- ・医療機関や薬局への個別訪問は十分にはできていないが、ケアマネジャーが抱える困難ケースの課題解決のために、協力医が行う「地域相談」を案内し、医療面からの適切な助言を得ることができた。
- ・今後も、身近な所で医療職に相談できる機会として、ケアマネジャーに協力医の相談会を案内していきたい。

■指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

【目標】

「高齢者が要介護状態になることをできるだけ防ぐ（遅らせる）」「要支援状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ために、高齢者自身が地域において自立した日常生活を送ることができるよう、ケアマネジメントが実践できている。

また、心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントができている。

《適切なアセスメント及び自立支援に資するケアプラン作成》

(具体的な取組内容)

本人の意欲を引き出せるよう、本人や家族とのより良い信頼関係の構築に努める。

総合相談やアセスメント時など、介護保険制度や仕組みについての周知を行う。

(振り返り)

- ・本人や家族の話を傾聴し適切な情報提供をすることで信頼関係は築けていた。
- ・介護保険制度や仕組みの周知については、個々のケースにおいて柔軟な対応が必要となるため今後も継続していく必要がある。

《幅広い選択肢からの利用サービスの選択》

(具体的な取組内容)

地域のインフォーマル情報や資源の情報収集を行う。また、5職種でも情報の共有を行い、ケアマネジメントに活用できるようにする。

(振り返り)

- ・コーディネーターを中心に現状についての情報収集は出来ていた。また毎月の5職種会議で情報共有をしている。
- ・今後は収集した情報を基にして、さらにケアマネジメントにいかせるような工夫を検討したい。

《居宅介護支援事業所委託時の関与・支援》

(具体的な取組内容)

委託時の初回のケアマネジメント実施時の立会いや、サービス担当者会議への参加を通して、インフォーマル情報の周知を行う。

ケアマネ連絡会など、エリアを担当しているケアマネジャーの集まる場において、エリア内のインフォーマル情報の提供を行う。

(振り返り)

- ・ケアマネ連絡会では様々な話題が出るため情報提供が可能であった。
- ・サービス担当者会議ではインフォーマルサービスを活用したいという意向がないと情報提供をする機会をもちにくい。今後は個々のケースでの情報提供について工夫したい。

●利用者実績（延べ人数） 単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
185	192	194	183	187	187
10月	11月	12月	1月	2月	3月
184	182	188	181	183	186

■地域ケア会議

【目標】

適切な支援に繋がっていない高齢者に対して、公的サービス、社会資源を活用し、自立に資するケアマネジメントが地域で行われている。

また、具体的な地域課題やニーズを吸い上げ、資源開発や地域づくりにつなげている。

《地域づくり・資源開発》

(具体的な取組内容)

自治会や医療機関と共に開催して行った講座で収集したアンケートを基に、不足している地域資源や介護予防等に関する包括エリア地域ケア会議を開催する。

(振り返り)

- ・自治会ごとに集計した総合相談から、該当自治会の生活背景や出張講座で収集したアンケートを基に、不足している地域資源や介護予防等に関する包括エリア地域ケア会議を開催した。
- ・統計に基づいた課題は可視化され、それらの取り組みについては、次年度、自治会と共に対応していく。

《個別課題の解決》

(具体的な取組内容)

新たに、医療関係機関やコンビニ、小規模小売店、金融機関等にも、ケア会議の参加を要請し、地域の高齢者の実態や、地域課題の把握等、新しい視点から、情報を基に課題の分析を行う。

(振り返り)

- ・横浜銀行からもたらされた情報により「独居認知症高齢者支援」の個別ケア会議を開催。協力医や警察、金融機関、スーパー、民生委員、小規模多機能事業所が参加。課題解決に向けての今後の取り組みを話し合った。
- ・会議を契機に、金融機関やスーパーと密接な関りができ、今後も、関係性を維持していく。

居宅介護支援事業

【目標に対する取り組み状況】

ケアプラン件数は、前半は伸び悩んだが、後半は計画に近い件数にする事が出来た。地域包括支援センターや行政、他事業所と連携がとれたことで情報共有や相談受付後すぐの対応、同行訪問が行えた。家族と利用者の意向が合わず、サービスに繋がらないケースもあった。

●職員体制

居宅介護支援事業所管理者 1名（常勤兼務）

主任介護支援専門員 1名（常勤専従）

介護支援専門員 3名（うち常勤兼務 1名、常勤専従 2名）

●利用者実績（単位：人）※（ ）内は介護予防プラン・介護予防ケアマネジメント受託件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80 (18)	79 (23)	91 (23)	89 (24)	93 (23)	93 (23)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
98 (20)	98 (22)	103 (20)	95 (19)	102 (20)	110 (23)

<別表1>月間目標と反省

1) 地域交流事業

4月の目標	①施設利用団体への施設利用説明会の準備を行う。
反省	①施設利用団体への施設利用説明会の準備を無事に終えた。
5月の目標	①新年度が始まり、地域の町内会や関係機関などとさらに連携を深めることに努め、今後の事業につなげていく。
反省	①施設利用団体への施設利用説明会の準備を無事に終えた。
6月の目標	①新年度が始まり、地域の町内会や関係機関などとさらに連携を深めることに努め、今後の事業につなげていく。
反省	①来年度開催予定のうたのひろばの第一回企画会を実施、地域の担い手が集まつた。新しい施設の見学(とっとの芽サテライト)を通して、子育て世代のニーズを知ることができた。
7月の目標	①自主事業や地域の祭りを通して地域との関係を深める。 ②11月のケアプラザ祭の企画立ち上げと、関係機関への協力打診を始める。 ③マスコットキャラクターふう～まあのデータ化を終える。
反省	①自主事業や地域の祭りを通して地域との関係を深めた。 ②11月のケアプラザ祭の準備を始めた。 ③深谷保野地域ケアプラザのマスコットキャラクターふう～まあのデータ化を終えた。
8月の目標	①月末の区の子育て支援の祭りとことこフェスタの準備を滞りなく進める。 ②戸塚区の夏休みこどもフェスタ(とことこフェスタ)へケアプラザや地域の子育て支援の案内をするパネルを展示、自主事業などのチラシも配架し周知することができた。戸塚区内ほかの地区の支援者の話も聞く機会があり今後の参考にしたい。
9月の目標	①運営協議会、9月に予定している子育ての自主事業の準備をする。 ②11月のふう～まあケアプラザ祭の準備も並行して進める。
反省	①ガイドボランティア養成講座に参加。その仕組みや、発達障がいを持つ方々の行動や感じ方、保護者の想いを知った。活動ホームしもごうに行き、障がいのある方々の日中活動を見学した。社会福祉法人クローバーの日中作業の様子を見学に行った。今後も機会を見つけ関係機関とのつながりを深めていきながらこの地域でできる事を模索していく。 うたのひろばを10月に開催するために、準備を進めた。
10月の目標	①月末の自主事業第一回うたのひろばを無事開催する。 ②ふう～まあケアプラザ祭の準備を進める。
反省	①年賀状発送まえに宛先を所内で確認する作業を進めた。広報紙を作成した。四半期報告を終えた。 ②10月は業務がさらに多くなるため来年は計画的に準備を進めていく。
11月の目標	①運営協議会を無事開催する。 ②ケアプラザ祭の準備を進める。
反省	①運営協議会は無事終えることができたが次回はより計画的に進めていきたい。 ②ケアプラザ祭は周知を始めるのが遅かった。
12月の目標	①書類整理をし、次年度の事業計画や予算申請に備える。
反省	①次年度の事業計画作成に着手、予算申請を終えた。
1月の目標	①次年度自主事業計画のための協力団体との打ち合わせを行う。 第三者評価のための準備を滞りなく行う。
反省	①次年度自主事業計画を概ね立て終わった。
2月の目標	①今年度最後の広報誌をの発行をするにあたり、一年間の掲載内容やタイムスケジュールなどの振り返りを行う。 ②3月の第2回運営協議会の準備を進める。
反省	①今年度の広報紙の発行・発送スケジュールや掲載内容などの確認をし、資

料の整理をした。

- ②3月の第2回運営協議会の開催通知を発送し、その他の準備の段取りをつけた。

3月の目標 ①第二回運営協議会の発表資料を作成し、会の準備を滞りなく進める。

- ②今年度の事業の振り返りを行い、次年度の計画を立てていく。

反省 ①第二回運営協議会の発表資料を作成し、今年度の各事業の振り返りを行った。

- ②書類整備を行った。

2) 地域包括支援センター事業

4月の目標 ①包括内部で欠員がでることも含め、包括会議や5職種会議をしっかりと行い、連携をとりながら年度開始の慌ただしさに飲まれないように、確実な業務対応を目指す。

反省 ①新しい年度となり、改めて包括支援センターの周知を広報誌にて行った。また、包括会議や5職種会議で、情報を共有し連携をとりながら、相談業務等の対応を行った。

5月の目標 ①民児協が主催する「ふれあい昼食会」にて、依頼されている独居の方へ向けての情報提供(行政サービスや消費者被害等)の資料作成や準備を行う。
②今年度、深谷団地にて「地域ケア会議」を予定しているため、その前段階として、6月に、ケアプラザと生協戸塚病院、深谷町自治会が合同で行う「健康講座」の準備を、3者で連携を取りながら丁寧に行う。

反省 ①新しい年度となり、改めて包括支援センターの周知を広報誌にて行った。また、包括会議や5職種会議で、情報を共有し連携をとりながら、相談業務等の対応を行った。

6月の目標 ①民児協が主催する「ふれあい昼食会」にて、依頼されている独居の方へ向けての情報提供(行政サービスや消費者被害等)の資料作成や準備を行う。
②今年度、深谷団地にて「地域ケア会議」を予定しているため、その前段階として、6月に、ケアプラザと生協戸塚病院、深谷町自治会が合同で行う「健康講座」の準備を、3者で連携を取りながら丁寧に行う。

反省 ①新しい職員が加わり、業務が滞りなく行われるよう引継ぎが行えた。
②地域から安否確認のあったケースに対し、職員間で情報を共有しながら、警察や消防署と連絡を取り合い緊急対応を行うことができた。
③地域「深谷団地自治会」「不二美こだま会」の依頼を受け出張講座を行い、課題を抽出することができた。

7月の目標 ①地域住民向けの出張相談会を横浜銀行で開催予定で、住民のニーズ把握や銀行が行おうとする地域貢献が相重なるよう調整を行う。
②ケアマネ支援のため「認知症を抱える家族支援」をテーマに事例検討会を行う。

反省 ①新しい職員が加わったが、業務に関して共有項目が多いため十分に伝えきれなかつたことや、多くの項目を一度に把握することが難しかった。

②役割分担しながら、訪問や相談に対応することができた。

8月の目標 ①制度や事業内容を把握し業務に活かすために、積極的に研修会等へ参加する。

反省 ①実務では個々に活動することもあり他の職員であればどう対応したのだろうかと考えてしまうこともある。研修では多職種の方々の意見が聞けて今まで気付かなかつた視点で考えることができ参考になった。

②地域の集まりでは参加者の笑顔にふれ心から楽しんでいる様子が印象的であった。初参加の私も快く受け入れてくださり、このようにして活動の輪が広がっていくのだなど実感した。

9月の目標 ①制度や事業内容を把握し業務に活かすために、積極的に研修会等へ参加する。

		<ul style="list-style-type: none"> ①個別ケースの地域ケア会議が、滞りなく行われるように、連携を取りながら準備を進めていく。 ②初回の相談後、継続的に支援が必要と思われるケースで、その後連絡がないケースについて、状況把握に努めていく。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ①個別地域ケア会議を開催し該当ケースの支援体制が整った。ケア会議に参加した商業施設の担当者から「ケアプラザの役割が良く分かった」との感想があった。 ②別日に、商業施設を利用している生活困窮のケースについて店長から相談を受け、必要な支援につなげることができた。
10月の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①初めて行う「横浜銀行」での無料相談会に向けて、たくさんの地域の人を利用するよう、それぞれで手分けして広報活動を行う。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ①浜銀での介護相談会を実施。いらっしゃった方には自主事業やCPの案内を配布して周知活動を行った。実際には対象エリア外の方や急いでいる方も多く十分な周知活動には至らなかった。
11月の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①深谷団地での医療講演会（最終回）を成功させる。講演会後の反省を踏まえて12月の地域ケア会議の準備を進めていく。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ①深谷団地での医療講演会（最終回）は大変好評であった。茶話会では地域住民からの感想や要望などを聞くことができ、反省等を踏まえて12月の包括レベル地域ケア会議の準備も進めていくことができた。
12月の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①12月の包括レベル地域ケア会議を成功させる。また、年末や新年に向けての新規・継続の相談業務や残作業等を滞りなく行う。資料等の整理整頓を行う。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ①包括レベル地域ケア会議では、相談やアンケートを細かく分析し、地域住民と関連団体へ報告することができた。各団体で現状や今後の課題等の再確認、及び情報を共有することができ、次につながる有意義な話し合いの場となった。
1月の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①引き続き、新規・継続の相談業務を滞りなく行い、進展のない相談に関しては、チームで積極的に関わり解決を目指していく。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ②引き続き、新規・継続の相談業務を滞りなく行うことができた。進展のないケースに関しても、ピックアップした後、チームで関わり、適切なサービスに繋げることができた。
2月の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①次年度の事業計画を共有し調整を行う。 ②感染症の流行時期なので、感染症予防策及び体調管理を徹底する。また、相談者や利用者にも周知を行う。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ①区との意見交換会での意見やアドバイス等を参考にすることができた。 ②新型コロナウィルスやインフルエンザ等感染症の発症も無く、感染症予防策及び体調管理を徹底できた。しかし、新型コロナウィルスの感染拡大の危険性がある。
3月の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①運営協議会が成功するよう、準備を円滑に進める。 ②新型コロナウィルスやインフルエンザ等感染症の流行時期なので、引き続き感染症予防策及び体調管理を徹底する。また、相談者や利用者にも周知を徹底する。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ①運営協議会は中止となってしまったが、提出用の資料の準備を円滑に進めることができた。 ②新型コロナウィルスやインフルエンザ等感染症予防策及び体調管理を徹底し、相談者や利用者にも周知を徹底することができた。
<h3>3) 生活支援体制整備事業</h3>		
4月の目標		<ul style="list-style-type: none"> ①新年度を迎えるにあたり、地域への挨拶を行い、上半期の活動を確認する。 ②地域支援計画、アセスメントシート等の更新を行う。
	反省	<ul style="list-style-type: none"> ①地域支援計画、アセスメントシート等の更新を行った。

		②サービスB団体とC P間でケアプランや実績等の確認を行った。
5月の目標		①上半期の振り返りを行い、下半期の計画の見直しを行う。 ②活動の把握ができていない地域やサロンに訪問し、情報収集を行う。
反省		①民生委員主催のふれあいサロン開催の打ち合わせの日程調整や送迎協力施設への連絡等を行った。 ②地域COと俣野町エリアを訪問し、新たな地域資源の把握や地域特性を把握することができた。
6月の目標		①大正フェスタを参加し、ハートプラン連携チームの一員として周知活動を行う。 ②サロンやカフェの情報収集を行い、カフェマップに反映する。
反省		①大正フェスタには子どもから高齢の方が大勢参加され、ハートプランのアンケートの協力者も多かった。 ②新しく立ち上がったサロンに訪問し、情報収集を行った。
7月の目標		①自治会町内会の夏祭りや活動に訪問し、関係作りや地域情報を把握する。 ②サービスB活動団体との実績確認を滞りなく進める。
反省		①サービスB活動団体との実績確認は滞りなく進めた。 ②昨年、訪問できなかった自治会町内会の夏祭りに訪問し、地域の情報を得ることができた。
8月の目標		①自治会町内会の夏祭りや活動に訪問し、関係作りや地域情報を把握する。 ①お祭りに訪問し、地域の現状や今後の活動に関する情報を得ることができた。
反省		①上半期の振り返りを行い、下半期の計画の見直しを行った。 ②地域やサロン等の活動状況を把握するために、訪問や連絡をする。
9月の目標		①上半期の振り返りを行い、下半期の計画の見直しを行った。 ②地域やサロン等の活動状況を把握するために、訪問や連絡し活動状況を把握する事が出来た。
10月の目標		①ふう～まあケアプラザ祭開催に向けて、協力して下さる地域の方々との打ち合わせや準備を円滑に行う。 ①ふう～まあケアプラザ祭開催に向けた打ち合わせを重ねた。 また昨年の反省を生かして、2回目の開催に向けて準備を進めた。
反省		また昨年の反省を生かして、2回目の開催に向けて準備を進めた。
11月の目標		①ふう～まあケアプラザ祭開催に向けて、準備を進める。 ②地域活動団体の情報収集を進める。
反省		①ふう～まあケアプラザ祭は2回目の開催で、前年度の反省を踏まえてプログラムを構成し、昨年に比べて来館者が少なかったため混雑はなかった。 また悪天候だったが事故やケガ等なく行えた。反省を行い、次年度に活かしたい。 ②地域活動団体の情報収集は、団体に情報提供の協力を依頼した。引き続き進めていく。
12月の目標		①次年度に向けた予算・事業計画等を計画的に作成する。 ②協議体開催に向けた準備を滞りなく進める。
反省		①協議体については、地域ケア会議と合同開催し、地域の課題等を共有することができた。今後に繋げていきたい。 ②次年度に向けた書類作成については、期日等を確認し、計画通りに作成した。
1月の目標		①サロンやサークルを訪問し、現状、今後の活動について情報を得る。 ②第三者評価に向けた準備を進める。
反省		①第三者評価の書類準備等は計画的に進めた。 ②サロンに訪問し、現状の活動や困りごとについて確認をした。
2月の目標		①今年度の振り返りと次年度に向けた計画、書類の整備を行う。 ①区や地域の団体と今年度の振り返りに向けての調整や第三者評価、区との意見交換に向けての振り返り、書類の整備等を行った。
反省		
3月の目標		①地域団体等との今年度の振り返りの実施、生活支援COの次年度の計画、書類整備等を引き続き行う。

		②感染予防策については、状況を把握して適切に対応できるように努める。
反省	①新型コロナウイルス感染拡大防止策に基づいて、地域関係者への連絡・対応を行った。	
	②運営協議会資料作成、次年度の計画等の書類整備を進めた。	
4) 居宅介護支援事業		
4月の目標	①モニタリング訪問時に新元号に関することや行政を語った詐欺についての啓発用ちらしの配布と声掛けをモニタリング時に行う。	
反省	①モニタリング訪問時に新元号に関することや行政を語った詐欺についての啓発用ちらしの配布と声掛けを行った。居宅職員研修は滞りなく行っている。	
5月の目標	①周辺で行政機関を名乗って訪問する人が増えてきており、新元号に変わる時期のため引き続き新元号や行政を語った詐欺についての啓発用チラシの配布や声掛けを行っていく。	
反省	①新元号や行政を語った詐欺についての啓発用チラシの配布や声掛けを行った。	
6月の目標	①気温と湿度が高くなるので、訪問時には体調確認を行いつつ、食中毒・脱水の注意を呼び掛ける。	
反省	①訪問時には体調確認を行い、食中毒・脱水の注意を呼び掛けた。	
7月の目標	①負担割合証の確認を行う。また、訪問時にはひきつづき体調確認を行いつつ、脱水や熱中症の注意を呼び掛ける。	
反省	①負担割合証の確認を訪問時に確認を行っている。 ②訪問時に熱中症予防、水分補給の声掛けを行った。	
8月の目標	①引き続き、モニタリング訪問時に熱中症予防や水分補給の声掛けを行っていく。 ②今年は区役所より負担割合証の送付が遅れているため、引き続きモニタリング訪問時に負担割合証の確認を行っていく。	
反省	①訪問時には熱中症予防や水分補給の声掛けと、負担割合証の確認を行った。	
9月の目標	①各担当ケースの分かち合いを行い、担当の不在時適切な対応ができるよう支援内容の確認を行う。	
反省	①各担当の利用者状況について、担当者が不在時でも適切な対応ができるよう情報共有を行っており、継続して実施していく。	
10月の目標	①9月に配布した利用者アンケートを集計し、課題抽出し解決に向けての検討を行う。	
反省	①利用者アンケートは現時点で大きな課題はないが、引き続き回収し課題抽出を行っていく。	
11月の目標	①インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症が流行る時期に入る為、感染予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行う。	
反省	①インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症予防の呼びかけと体調変化に留意したモニタリングを行っている。流行時期になったので継続して行っていく。	
12月の目標	①第三者評価と情報公表に向けての書類の整理、確認を行う。	
反省	①介護サービスの情報公表と第三者評価の書類の確認作業を行っている。	
1月の目標	①介護サービスの情報公表と第三者評価の書類の最終確認作業を行う。 感染症予防のための声掛けをモニタリング時に行う。	
反省	①介護サービスの情報公表と第三者評価の書類の最終確認作業をすすめている。モニタリング時に感染症予防のための声かけを行った。引き続き声かけを行っていく。	
2月の目標	①インフルエンザ等の感染症の注意喚起を利用者に行うとともに職員も健康管理に努める。	
反省	①インフルエンザ等の感染症の注意喚起を利用者に行うとともに職員も健康	

管理に努めた。

- 3月の目標 ①感染症予防の声かけは引き続き行いつつ、担当エリア内で振り込み詐欺が発生しているため、訪問時等には注意喚起を行う。
- 反省 ①新型コロナ感染拡大防止のため、行政からの通知に基づき、訪問の自粛を行ったため、電話で状態確認、感染症の注意喚起を行った。

<別表2>防災訓練実施結果

日時	場所	参加者	内容
令和1年 11月9日(土) 19:00~ 20:00	聖母の園	聖母の園入所者、聖母の園職員、ケアプラザ職員、修道院センター、ファミール第2戸塚住民多数 消防署、消防団関係者 多数	聖母の園において夜間の火災発生を想定し、施設職員、利用者及び地域住民、消防署の協力を得て、避難訓練を実施。 訓練終了後、反省会を行い、大正消防出張所所長の講評を頂き、参加者による質疑応答が行われた。
令和1年 12月28日(土) 14:00~ 14:30	駐車場	ケアプラザ職員 11名参加	火災を想定し、消火器の機能や使用方法、注意点等の解説、質疑応答、職員による水消火器使用訓練を実施。

<別表3>研修参加者一覧

研修日	研修会名	研修内容	主催者	参加人数
1 R1.5.30	ケアマネット戸塚	訪問歯科の現状と課題	ケアマネット戸塚	1人
2 R1.6.4	介護予防業務研修（基礎編）	平成30年度から始まった「よこはま地域包括ケア計画」に伴い、介護予防を推進する地域づくりを目指し、地域の中で効果的な事業展開をしていくための、基礎知識と技術を習得する。	横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課	1人
3 R1.6.18	戸塚区セーフティネット会議	地域における学齢期の子どもの支援を考える	戸塚区福祉保健センター	1人
4 R1.6.21	成年後見制度基礎研修	成年後見制度をはじめとする本市の権利擁護施策を理解し、日常の相談の中に権利擁護の視点を持ち、早期の段階から成年後見制度の必要性を考え、制度の利用促進を図ること	横浜市健康福祉局	1人
5 R1.6.24	第23回事例検討会	ミニ講座「高齢者の便秘について」 事例検討「不安が強い外国人ご夫妻の支援」	戸塚区在宅医療相談室	2人
6 R1.6.30	ほーめっと	「災害について考え方」「HUG（避難所運営ゲーム）」	戸塚区在宅医療連絡会	1人
7 R1.7.2	ハマトレ研修	高齢者の「歩き」に着目した「ハマトレ」を広く普及し、ロコモティブシンドローム等の予防を推進するため、区役所や地域ケアプラザの職員が普及啓発や元気づくりステーション事業、地域活動への支援等で活用できる研修	横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課	1人
8 R1.7.3	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務研修	横浜市介護予防・日常生活総合支援事業の中に位置付けられているサービスを介護予防支援・介護予防ケアマネジメント指針を通して理解を深める。	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	2人
9 R1.7.9	「住むだけで健康になる街・ヨコハマへの提言～JAGESプロジェクトの歩みから～」	「社会参加」による介護予防の効果 「健康寿命の延伸」を目指す上での「地域環境・社会環境の整備・改善」の重要性 「まちづくり・環境づくり」による住民の健康への影響	横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課	1人
10 R1.7.12	横浜市訪問型短期予防サービス従事者研修	横浜市訪問型短期予防サービスの事業理解および、閉じこもり傾向の高齢者等への支援についての具体的アプローチについて講義等を通じて学ぶ事により横浜市訪問型短期予防サービスをより効果的に提供できることを目的とする。	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	1人
11 R1.7.17	精神保健福祉基礎研修（障害理解編）	精神障害者の生活障害の理解をテーマとした講義に加え、事例を用いたグループワークで支援の在り方を検討するなど、より実践的に学ぶことを目的とします。	横浜市健康福祉局こころの健康相談センター	1人
12 R1.7.22	横浜市深谷俣野地域ケアプラザケアマネ連絡会	認知症の母を介護する家族の手紙より	横浜市深谷俣野地域ケアプラザ	2人
13 R1.7.23	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会	高齢者の栄養管理について	横浜市原宿地域ケアプラザ	1人
14 R1.7.23	協働入門研修	「協働」や「市民活動支援」等の基本原則に基づき、横浜市の取組や地域で活動する団体等の活動事例から、地域への介入方法や効果を学ぶ	市民局地域活動推進課	2人
15 R1.7.23	生活支援交流会・居宅介護支援事業所連絡会	「高齢者の栄養管理について」、高齢者向け宅配弁当事業者紹介・試食会、インフォーマルサービス等について	横浜市原宿地域ケアプラザ	1人
16 R1.7.30	地域包括ケアシステムにおける在宅医療の今後について	「地域包括ケアシステムにおける行政職員の果たすべき役割」	横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課	1人
17 R1.7.30	ケアマネット戸塚	各種軽減制度の手続き方法について、介護保険以外のサービスについて	ケアマネット戸塚	1人
18 R1.8.28	地域ケア会議従事者研修	包括レベル地域ケア会議の計画・実施について	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	2人
19 R1.8.31	横浜市認知症キャラバン・メイト養成講座	「認知症の理解と認知症の方との接し方」	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	2人
20 R1.9.3	地域包括支援センター職員等養成研修	地域包括支援センターの役割、総合相談支援、権利擁護	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	2人
21 R1.9.6	とつかハートプラン18地区情報共有連絡会	地域での取組事例発表	戸塚区福祉保健課戸塚区社会福祉協議会	2人

<別表3>研修参加者一覧

22	R1.9.13	地域活動・サービスリストデータベースシステム「Ayamu」操作研修	Ayamuの操作方法について	横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課	1人
23	R1.9.13	第2回地域まちづくり支援制度活用研修	地域の課題解決や魅力向上の取組を支援するツールとして地域づくり課が所管する支援制度の活用を目的とした研修	都市整備局地域づくり課	1人
24	R1.9.13	高齢者の消費者被害防止研修	高齢者の消費者被害の未然防止や早期発見につながるよう、高齢者の被害が増加している背景や高齢者が遭いやすい手口を知る	横浜市消費生活推進課	1人
25	R1.9.17	認知症初期集中支援チームと認知症疾患医療センターとの実践	認知症初期集中支援チームから認知症疾患センターへつながった事例 認知症初期支援チームより相談後に認知症医療疾患センターにつながった事例	横浜舞岡病院 認知症疾患医療センター	1人
26	R1.9.18	成年後見制度利用促進研修（基礎編）	成年後見制度概論、申立て手続きと診断書の改定・本人情報シート	かながわ成年後見推進センター	1人
27	R1.9.19	横浜市若年性認知症従事者研修	若年性認知症の方への支援の実際について	公益財団法人 横浜市総合保健医療財団	1人
28	R1.9.19	成年後見制度を必要とする方への支援	福祉職のための成年後見制度を様々な事例を通して理解する	地域包括研究会 社会福祉士分科会	1人
29	R1.9.24	認知症の人と共にある家族を支援する	支援者として様々な視点からの支援方法を考えていく	地域包括研究会 主任ケアマネジャー分科会	2人
30	R1.9.25	個人情報取扱い等研修	個人情報取扱いの基本と適切な利用について 個人情報漏えい事故事例とその対策について	戸塚区役所福祉保健課	7人
31	R1.10.5	精神障害の理解～障害当事者からのメッセージを交えて～	精神障害とは、障害特性について、関わり方や配慮について	ウィリング横浜	1人
32	R1.10.7	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務研修	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の概要について 環境整備の実践プロセス（P D C Aサイクル） 包括的・継続的ケアマネジメントにおける環境整備の意義とプロセス	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	1人
33	R1.10.16	介護予防業務研修（技術編）	I C Fの理解と活用～介護予防の推進を目指して～	横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課	1人
34	R1.10.18	生活支援コーディネーター「視察研修」	東京都東久留米市視察	戸塚区社会福祉協議会	1人
35	R1.10.28	若年性認知症自立支援ネットワーク研修	「若年性認知症の理解」職場における気づきや期待したい対応	神奈川県福祉子どももみらい局	1人
36	R1.10.29	ケアマネット戸塚	高齢者虐待の理解とチームアプローチに向けて	ケアマネット戸塚	1人
37	R1.10.30	ほーめっと	災害時の連携を考えよう	戸塚区在宅医療連絡会	1人
38	R1.11.8	高次脳機能障害の理解	高次脳機能障害とは、障害特性について、関わり方や配慮について	ウィリング横浜	1人
39	R1.11.12	介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務従事者研修	対象者に寄り添ったプランを組み立てよう	戸塚区役所高齢・障害支援課	2人
40	R1.11.18	精神疾患有える方への支援について	精神疾患の理解、精神疾患有える方への支援、精神疾患に関連した制度	戸塚区役所高齢・障害支援課	2人
41	R1.11.20	地域で取り組むグリーフケア	大切な人を喪う、身近な方々の悲嘆に対して、私たちができる事は何か・・グリーフへのケアと一緒に学ぶ	横浜市戸塚区医師会訪問看護ステーション	1人
42	R1.11.25	戸塚区の犯罪情勢と高齢者が取り組む身近な防犯	高齢者を取り巻く犯罪について	横浜市深谷俣野地域ケアプラザ	2人
43	R1.12.4	学びと活動の環境からつながりづくりを考える「生涯学習研修」	「つながる」ことで得られる効果を理解する。 「つながり」から生まれる可能性や「つなげる」ことの重要さに気付く。 「つなぐ」仕事に対してのミッションとやりがいを考える。	教育委員会事務局生涯学習文化財課	1人
44	R1.12.12	家庭支援研修	男性介護者の支援をとことん考える	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	1人
45	R1.12.16	高齢者虐待防止関係職員研修	高齢者虐待と8050問題～ひきこもりを理解する～	横浜市健康福祉局高齢福祉課	1人
46	R1.12.18	8050問題を通してソーシャルワークを考える～実際の支援ケースを通して～	8050問題の実態や対応方法を通して、次世代のソーシャルワークについて学ぶ	地域包括研究会 社会福祉士分科会	1人

<別表3>研修参加者一覧

47	R1. 12. 19	高齢者虐待防止事業事例検討会	在宅高齢者の虐待事案について、法律上の解釈や問題点等のアドバイスを受け、今後の適切な支援につなげるため	戸塚区役所高齢・障害支援課	1人
48	R2. 1. 8	コーディネーター研修会	地域ケアプラザのコーディネーターとして必要とされる資質や知識、様々な関係づくりの方法を理解する	戸塚区社会福祉協議会	1人
49	R2. 1. 14	介護予防業務研修（理論編）	「地域共生社会及び地域包括ケアシステムの理念と介護予防の推進について	横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課	1人
50	R2. 1. 17	見守り支えあい活動の極意	住民主体で進める見守り支えあいとは、個人情報と見守り活動	戸塚区役所高齢・障害支援課	2人
51	R2. 1. 22	横浜市犯罪被害者等支援研修会	「横浜市犯罪被害者等支援条例」について理解する	横浜市市民局人権課	1人
52	R2. 1. 29	介護予防ケアマネジメントスキルアップ研修	薬に関する基礎的な知識を習得し、その習得した知識を日々の業務に活かす。	横浜市健康福祉局高齢在宅支援課	1人
53	R2. 2. 7	戸塚区内介護保険事業所と連携を深める会	残薬問題と訪問スタッフの関わりについて	西横浜国際総合病院	2人
54	R2. 2. 9	住民主体の通いの場への管理栄養士派遣モデル委託事業報告会	神奈川県栄養士会の介護予防事業への取組について、モデル事業の報告	神奈川県栄養士会	1人
55	R2. 2. 18	団塊の世代へのリスクマネジメント	リスクの初動対応とトラブルを大炎上にまでさせないために	地域包括研究会主任ケアマネジャー分科会	2人
56	R2. 2. 20	成年後見利用促進研修	成年後見制度をめぐる動向、成年後見制度利用促進に向けた取組	横浜市健康福祉局福祉保健課	1人
57	R2. 1. 27	戸塚区介護保険認定調査員現任研修	要介護認定の仕組みと考え方について、介護認定審査会に伝わる特記事項のポイント、認定調査票特記事項の留意点について	戸塚区役所高齢・障害支援課	1人
58	R2. 1. 28	親あるうちの成年後見	横浜市障害後見的支援制度と成年後見を学ぶ	ウイリング横浜	1人
59		神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新研修	神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新研修	横浜市社会福祉協議会	1人
60		神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新研修	神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ更新研修	介護の未来	1人

令和元年度 自主事業報告書

<別表4>

横浜市深谷保野地域ケアプラザ (地域交流)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
主催 ふかやまたの カフェ	対象：地域住民 <目的> 閉じこもり、引きこもり予防、孤食予防 地域交流の活性化、ボランティア活動の場の提供 <内容> 週一回飲み物を飲みながらおしゃべりなどを楽しむ。月2回程地域のボランティアによる楽器演奏や合唱、けん玉教室、手品などにイベントに参加することができる。今年度は医療相談の周知の為協力医も数回参加した。	月4回
主催 ぽかぽか	対象：地域住民 <目的> 未就園の子と親の支援 多世代の地域住民の交流の場 <内容> 近所で顔見知りを増やす 大正地区の子育て支援団体と保育園の協力で作る遊び場。地域の住民なら誰でも参加できるお茶飲みコーナーを新たに併設。カフェボランティア、見守りボランティア、読み聞かせボランティアなども参加。つどいの広場きらきら、ぽっぽの家、保育園共催。	毎月第3水曜日 (8月を除く)
主催 絵手紙教室 たんぽぽ	対象：地域住民 <目的> 趣味活動を通じた地域住民の交流。 <内容> 季節折々の花や野菜、果物などを持ち寄り、好きなものを描いたり、貼り絵などを施したうちわづくりなどの工作をする。次年度以降に自主化をめざす。	毎月第2火曜日 (8月を除く)
主催 横浜薬科大学 薬草園見学会	対象：地域住民 <目的> 趣味を通して仲間づくり、地域の社会資源の周知 <内容> 横浜薬科大学内にある薬草園を大学教授による案内で回り、身近な薬草についての説明や講話を受ける。学内施設の案内もあり。	5月31日
主催 世界のおもちゃ であそぼう	対象：地域住民 <目的> 子育て世代へのケアプラザの周知、子育て世帯のつながりづくり、多世代交流、ボランティア活動の場の提供 <内容> おもちゃサポーターによる見守りの中で自由に遊ぶスペースを提供。夢のおもちゃ箱共催。	5月25日 9月15日
施設利用説明会	対象：既存の登録団体と新規の登録団体 <目的> 施設利用方法のより詳しい理解、団体同士の交流 <内容> 施設利用説明、貸し出し用ロッカーの抽選、質問タイム	5月30日

令和元年度 自主事業報告書

<別表4>

横浜市深谷保野地域ケアプラザ (地域交流)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
共催 大正 プロジェクト	対象：大正小個別支援学級児童 <目的> 対象児童の余暇支援と保護者のレスパイト 地域で支援してくれる方とのつながり作り <内容> ストレッチ運動、風船バレー、しりとり、トランプなど。 体操は施設のアウトリーチによる派遣講師が担当。参加者は他に小学校コーディネーター、学援隊、和みの園、民生委員、社会福祉法人クローバーなど。 ハートケア小雀、ツケイ、はぴ spos、原宿C P共催	5月22日 6月27日 9月25日 10月23日 1月22日 2月27日
共催 障害を正しく 理解するための 学習会	対象：障がい児・者の養護者、地域住民 <目的> 地域の障がいのある子供の保護者同士のつながり作り、支援につながる情報提供、各相談、支援機関との連携作り <内容> 「新しい環境の中での学校や家族との関わりについて」、「楽しい夏休みを迎えるために」、「我が子との防災について」、「コミュニケーションボードを知ろう」、「子どもの健やかな育ちを支えるために」 グループちえのわ、原宿C P共催	5月23日 7月4日 9月20日 11月30日 2月20日
事務局 子育て連絡会	対象：地域の子育て支援団体 <目的> 交流、情報共有、課題共有、ネットワーク作り <内容> 地域の子育て情報シートの作成、情報共有	5月28日 10月15日
うたのひろば 企画会	対象：地域ボランティア <目的> うたのひろば次年度開催の準備、ボランティア活動場の提供 <内容> スタッフ募集、企画検討、練習	6月14日 7月23日 8月2日 8月21日 9月18日 10月26日 11月20日 12月18日
うたのひろば	対象：地域 <目的> 地域の居場所作り 趣味を通じた仲間づくり 声を出したりレクリエーションをすることによる健康作り <内容> ギター伴奏による昭和叙事歌を参加者全員で歌う。間に脳トレーニングレクリエーション。 企画・練習を重ねるうちに実施することになった。参加者多数で好評。2度目は感染症予防で中止。	10月29日
ふう～まあ ケアプラザ祭	対象：地域住民 <目的> ケアプラザの周知、地域住民の交流 <内容> フードコーナー、健康チェックコーナー ハートプランコーナー、キッズコーナー	11月23日

令和元年度 自主事業報告書

<別表4>

横浜市深谷保野地域ケアプラザ（地域包括支援センター）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成年後見制度に関する講座	<p>〈目的〉 地域住民対象に、制度の基礎理解を深め、広く周知し制度の活用や利用促進を図る。</p> <p>〈内容〉 税理士による「相続」や「成年後見制度」等の事例紹介や個別相談を行った。</p>	11月4日
介護者のつどい	<p>〈目的〉 介護者を対象として、健康維持やストレスの軽減を図り、虐待防止につなげる。</p> <p>〈内容〉 企業の協力を得ながら「整腸作用」について、健康基礎知識やお腹体操も織り交ぜて行った。</p>	10月17日
認知症サポーター養成講座	<p>〈目的〉 認知症への理解を含め正しい知識を持って対応できる。また、「自分が認知症になったら」と我がこととして考えるきっかけを作る。</p> <p>〈内容〉 自治会の住民・金融機関の職員・地域の活動団体スタッフ向けに、手作りの資料を作成して講座を開催。</p>	11月9日 12月18日 2月22日
ケアマネ連絡会	<p>〈目的〉 日頃のケアマネジメントの活動を振り返り、他のケアマネジャーと意見交換の中で、各々の資質や姿勢、技術を再確認する。</p> <p>〈内容〉 認知症の親を介護する家族からの手紙を事例に、事例検討会を行った。</p>	7月22日
民生委員とケアマネジャーの連絡会	<p>〈目的〉 同じ情報を共有することで、顔の見える関係を作り、担当する利用者の情報交換や支援方法等を共有できる機会を支援する。</p> <p>〈内容〉 活動している中で、支援困難ケースに関する「事例検討会」を行った。</p>	11月25日
多職種連絡会	<p>〈目的〉 地域の高齢者見守り支援の体制を整えるために、専門職や地域活動団体等のネットワークの構築を図る。</p> <p>〈内容〉 PHWによる講座を受けた後、精神疾患への理解や対応について事例検討会を行う。</p>	第4四半期 感染症拡大予防に 係る行政指導に基 づき開催できず。
ふう～まあお出かけ隊	<p>〈目的〉 地域の自治会館や集会所、金融機関等に出向き、ケアプラザの周知活動や地域の情報収集を行う。</p> <p>〈内容〉 どんな相談が寄せられているか身近に感じられるよう、相談事例の提示、もしも手帳の周知、血圧測定等を行った。</p>	6月16日 10月9日
医療連携講座	<p>〈目的〉 健康寿命延伸や介護予防について、地域住民が関心を持つ。医療機関が地域貢献できる場を設定する。</p> <p>〈内容〉 地域の病院と自治会との共催で、地域のニーズ（居場所作りや病院送迎バス誘致）をに沿った医療講座（血圧について・血圧について）を行い、併せてケアプラザの周知を行った。</p>	6月8日 9月28日

令和元年度 自主事業報告書

<別表4>

横浜市深谷保野地域ケアプラザ（地域包括支援センター）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域ケア会議 (個別)	<p>〈目的〉 金融機関や小売店との連携を図り、認知症の早期発見や対応について、支援体制の構築を図る。</p> <p>〈内 容〉 区役所や警察、民間企業（金融機関や小売店）、福祉団体が、認知症高齢者に対して、個々でできることや関係機関と連携してできることを確認した。</p>	9月4日
地域ケア会議 (エリア)	<p>〈目的〉 総合相談や事業アンケートから見えてきた課題を分析し、関係機関と課題を共有し、次につながる活動に結び付ける。</p> <p>〈内 容〉 地域で不足している資源を創出するために、自治会・医療機関・住宅関連企業が情報共有や意見交換を行い、今後の、方向性が確認できた。</p>	12月3日
深谷元気会	<p>〈目的〉 介護予防を意識し、張り合いのある生活を送るために、講師指導の下楽しく身体を動かす。</p> <p>〈内 容〉 ストレッチ・ボール・セラバンドを使用した体操を個々の状況に合わせて行った。</p>	年22回
つばきの会	<p>〈目的〉 保健推進委員と協働で、地域の高齢者を対象に介護予防・健康増進のために体操教室を開催する。</p> <p>〈内 容〉 ストレッチやラジオ体操、コグニサイズや骨盤体操等を行った。</p>	年14回

令和元年度 自主事業報告書

<別表4>

横浜市深谷俣野地域ケアプラザ（生活支援）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康講話	健康寿命の延伸、介護予防の普及活動を目的に、シニアクラブで健康寿命延伸をテーマに「フレイル予防」「食・社会参加・運動」の講話、はまちゃん体操を実施。	9月8日
ミニ栄養講座	介護予防・生活支援補助事業（サービスB）のサロンにおける居場所づくりの充実を目的に、サロンに参加している方（スタッフを含む）にフレイル予防をテーマにフレイルチェック、体力を維持するための食事等についてミニ講座を行う。	8月29日 9月26日 10月31日 11月28日 12月26日 1月23日 2月27日
協議体	生活支援体制整備事業の周知、地域との関係作りや連携体制を整えていく。また自治会、町内会等の小エリアにも目を向けて具体的な課題を共有し、良さを生かしながら地域づくりのきっかけ作り、目指す地域像の共有する。	12月3日

令和元年度 相談受付件数

相談件数	時間帯 （～17時 夕17時）	対象者					
		事業対象者	要支援 1・2	要介護 1・5	その他・不明	うち認知症	高齢者世帯 うち独居
1,216	1,141	75	18	0	284	381	510

- 「家族」や「本人」が行政や医療機関からの勧めで相談してくれるケースが増加している。
- 「区社協」からは、精神疾患等の障害ケースでの相談がある。
- 「その他」には近隣企業(スーパー・銀行)や後見人、警察等が含まれている。
- 相談内容には、「介護申請や介護サービス利用に伴う「介護保険」と「日常生活課題」が多く見られる。内容も関連していることが多い。

本人	家族	※相談者						※相談内容															
		地域住民	民生委員	居宅事業者等 サービス	施設	医療機関	介護保険	介護予防	行政サービス	インフォマル インサービス	(B P S D) 認知症	(認知症) 介護	(認知症以外) 医療以外	日常生活課題	苦情	成年後見制度	消費者保護	虐待	その他				
242	533	102	43	189	12	79	8	93	894	6	27	82	62	32	18	110	154	442	13	12	1	10	159

安否・状況確認	介護指導・保健言語等	※援助内容											
		申請受付	他機関等とのサービス調整	居宅事業者等 サービス	地保健関係者 福祉会社	医療機関 施設	区役所	区協議会 社会福祉社	ケアプラザ等 他の施設	その他	情報提供	傾聴のみ	その他
1,011	606	119	2	31	295	101	117	2	6	38	448	28	30

令和元年度 訪問件数

訪問件数	訪問時間帯 （～9時 ～17時 夕 ～21時 ～2時 タ ～1時 ～7時）	対象者			
		65歳以上		※属性内数	
事業対象者	自立	要支援 1・2	要介護 1・5	その他・不明	その他・不明
297	288	9	2	0	104
				71	119
				60	130
				70	1
				0	0
					0

安否・状況確認	申請受付 介護指導・保健等	※援助内容 他機関等とのサービス調整			
		居宅事業者等 サービス	医療機関 施設	区協議会 社会福祉	その他
介護保険 行政サービス	介護保険 言語等	ケアプラザ等 他の	情報提供	併聴のみ	その他
273	168	42	2	16	69
				27	36
				0	1
				17	124
				1	1
				2	2

- 管轄圏内には「ドリームハイツ」や「深谷古い家」など複数の年齢層の高齢者見合が見られる。居住地集合に近接して立地する住宅は、地城が異なる場合、災害時に危険が伴う懸念がある。「援助内容」にも多く見られる。
- 訪問先の対象者として、介護保険が未認定であるケースが多く、「独居」の割合が全訪問件数の4割以上を占めている。
- 訪問時に「8050問題」を抱えていることも増えている。

<別表7>

令和元年度 介護予防プラン給付管理・新規契約者状況

【単位：人】

《給付管理合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
要支援1	210	206	203	196	815
要支援2	361	351	351	354	1417
合計	571	557	554	550	2232
昨年度合計 (比較データ)	457	482	521	533	1993

【単位：人】

《新規契約合計者数》					
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
要支援1	5	7	8	8	28
要支援2	13	4	12	9	38
合計	18	11	20	17	66
昨年度合計 (比較データ)	19	18	21	20	78

令和元年度 居宅介護支援事業実績

《令和元年度利用者契約者数（四半期別）》

【単位：人】 【単位：%】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計	前年比
要支援1・2	25	23	23	23	94	110%
要介護1	30	36	33	33	132	124%
要介護2	35	39	44	44	162	142%
要介護3	9	9	6	10	34	147%
要介護4	6	7	9	10	32	123%
要介護5	6	5	10	12	33	110%
合計	111	119	125	132	487	126%

《給付管理実績》（ ）内は予防プラン数

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
80 (18)	79 (23)	91 (23)	89 (24)	93 (23)	93 (23)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
98 (20)	98 (22)	103 (20)	95 (19)	102 (20)	110 (23)

《介護認定調査業務》（ ）内は区外

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
5	3	1	6	3	3
10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	3	7	4	4	3

合計 48人

深谷保野地域ケアプラザ拠点区分 資金収支計算書

第一号第四様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

深谷保野地域ケアプラザ

(単位：円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
収入	介護保険事業収入	29,163,000	29,931,564	△ 768,564	
	居宅介護支援介護料収入	23,512,000	24,157,989	△ 645,989	
	居宅介護支援介護料収入	17,788,000	18,346,279	△ 558,279	
	介護予防支援介護料収入	5,724,000	5,811,710	△ 87,710	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	5,293,000	5,396,369	△ 103,369	
	事業費収入	5,293,000	5,396,369	△ 103,369	
	その他の事業収入	358,000	377,206	△ 19,206	
	受託事業収入（公費）	220,000	230,850	△ 10,850	
	拠点区分間等受託収入	138,000	146,356	△ 8,356	
	地域包括支援センター収入	45,667,000	46,075,001	△ 408,001	
	地域包括支援センター収入	45,577,000	45,984,874	△ 407,874	
	地域包括支援センター収入	45,577,000	45,984,874	△ 407,874	
	その他の事業収入	90,000	90,127	△ 127	
	受託事業収入（公費）	90,000	90,127	△ 127	
	受取利息配当金収入	0	145	△ 145	
	受取利息配当金収入	0	145	△ 145	
	その他の収入	131,000	142,600	△ 11,600	
	受入研修費収入	11,000	11,500	△ 500	
	受入研修費収入	11,000	11,500	△ 500	
	雑収入	120,000	131,100	△ 11,100	
	その他雑収入	120,000	131,100	△ 11,100	
事業活動収入計 (1)		74,961,000	76,149,310	△ 1,188,310	
事業活動による収支	人件費支出	51,557,000	51,266,763	290,237	
	職員給料支出	30,654,000	30,521,998	132,002	
	職員俸給支出	25,044,000	25,042,021	1,979	
	管理職手当支出	269,000	266,760	2,240	
	主任手当支出	240,000	240,000	0	
	特殊業務手当支出	826,000	823,840	2,160	
	職務手当支出	680,000	680,000	0	
	扶養手当支出	1,020,000	1,020,000	0	
	住居手当支出	800,000	800,000	0	
	宿直手当支出	366,000	366,000	0	
	時間外手当支出	840,000	714,635	125,365	
	通勤手当支出	569,000	568,742	258	
	職員賞与支出	7,915,000	7,912,600	2,400	
	非常勤職員給与支出	5,406,000	5,260,881	145,119	
	有期・無期職員賃金支出	5,172,000	5,036,801	135,199	
	有期・無期職員通勤支出	234,000	224,080	9,920	
	退職給付支出	1,128,000	1,125,460	2,540	
	法定福利費支出	6,454,000	6,445,824	8,176	
	事業費支出	2,283,000	2,176,336	106,664	
	水道光熱費支出	1,257,000	1,181,378	75,622	
	保険料支出	95,000	93,820	1,180	
	賃借料支出	447,000	441,841	5,159	
	車輌費支出	30,000	22,174	7,826	
	雑支出	454,000	437,123	16,877	
	事務費支出	19,778,000	19,178,087	599,913	
	福利厚生費支出	229,000	222,750	6,250	
	旅費交通費支出	81,000	62,010	18,990	
	研修研究費支出	179,000	149,727	29,273	
	事務消耗品費支出	715,000	556,508	158,492	
	印刷製本費支出	648,000	529,853	118,147	
	修繕費支出	51,000	756	50,244	
	通信運搬費支出	1,084,000	1,001,791	82,209	
	広報費支出	229,000	225,655	3,345	
	業務委託費支出	11,306,000	11,222,048	83,952	
	業務委託費支出	9,967,000	9,885,645	81,355	
	拠点区分等業務委託費支出	1,339,000	1,336,403	2,597	
	手数料支出	266,000	254,415	11,585	
	土地・建物賃借料支出	504,000	504,000	0	
	租税公課支出	1,275,000	1,336,400	△ 61,400	
	保守料支出	1,917,000	1,912,778	4,222	
	涉外費支出	48,000	20,006	27,994	
	諸会費支出	62,000	61,290	710	
	雑支出	1,184,000	1,118,100	65,900	
事業活動支出計 (2)		73,618,000	72,621,186	996,814	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		1,343,000	3,528,124	△ 2,185,124	
施設設備等収支	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	固定資産取得支出	505,000	504,130	870	
支 出	器具及び備品取得支出	164,000	163,130	870	
	事務用器具備品取得支出	164,000	163,130	870	
	ソフトウェア取得支出	341,000	341,000	0	

<別表9>

101 社会福祉法人 聖母会

深谷俣野地域ケアプラザ

(単位:円)

勘定科目		予 算 (A)	決 算 (B)	差 異 (A) - (B)	備 考
	施設整備等支出計 (5)	505,000	504,130	870	
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 505,000	△ 504,130	△ 870	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	57,000	57,460	△ 460	
	退職給付引当資産取崩収入	57,000	57,460	△ 460	
	その他の活動による収入	7,000	7,000	0	
	差入保証金返還収入	7,000	7,000	0	
	その他の活動収入計 (7)	64,000	64,460	△ 460	
	積立資産支出	750,000	747,830	2,170	
	退職給付引当資産支出	750,000	747,830	2,170	
	その他の活動による支出	7,000	7,000	0	
	差入保証金支出	7,000	7,000	0	
	その他の活動支出計 (8)	757,000	754,830	2,170	
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 693,000	△ 690,370	△ 2,630	
	予備費支出 (10)	0		0	
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	145,000	2,333,624	△ 2,188,624	
前期末支払資金残高 (12)		11,408,714	11,408,714	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		11,553,714	13,742,338	△ 2,188,624	

深谷保野地域ケアプラザ拠点区分 事業活動計算書

第二号第四様式

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

深谷保野地域ケアプラザ

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減
収 益	介護保険事業収益 居宅介護支援介護料収益 居宅介護支援介護料収益 介護予防支援介護料収益 介護予防・日常生活支援総合事業収益 事業収益 その他の事業収益 受託事業収益(公費) 拠点区分間等受託収益 地域包括支援センター収益 地域包括支援センター収益 地域包括支援センター収益 その他の事業収益 受託事業収益(公費) 経常経費寄附金収益 寄附物品収益 サービス活動収益計(1)	29,931,564 24,157,989 18,346,279 5,811,710 5,396,369 5,396,369 377,206 230,850 146,356 46,075,001 45,984,874 45,984,874 90,127 90,127 0 0	24,790,764 19,046,228 14,322,136 4,724,092 5,302,834 5,302,834 441,702 281,880 159,822 46,785,111 46,695,811 46,695,811 89,300 89,300 8,710 8,710	5,140,800 5,111,761 4,024,143 1,087,618 93,535 93,535 △ 64,496 △ 51,030 △ 13,466 △ 710,110 △ 710,937 △ 710,937 827 827 △ 8,710 △ 8,710
リ ピ ス 活 動 増 減 の 部	人件費 職員給料 職員俸給 管理職手当 主任手当 特殊業務手当 職務手当 扶養手当 住居手当 宿直手当 時間外手当 通勤手当 職員賞与 賞与引当金繰入 非常勤給与 有期・無期職員賃金 有期・無期職員通勤費 有期・無期職員賞与 退職給付費用 法定福利費 事業費 水道光熱費 保険料 賃借料 車輌費 雑費 事務費 福利厚生費 職員被服費 旅費交通費 研修研究費 事務消耗品費 印刷製本費 修繕費 通信運搬費 広報費 業務委託費 業務委託費 拠点区分等業務委託費 手数料 土地・建物賃借料 租税公課 保守料 涉外費 諸会費 雑費 減価償却費 車輌運搬具減価償却費 器具及び備品減価償却費 有形リース資産減価償却費 ソフトウェア減価償却費 サービス活動費用計(2)	52,131,133 30,521,998 25,042,021 266,760 240,000 823,840 680,000 1,020,000 800,000 366,000 714,635 568,742 5,584,600 2,853,000 5,260,881 5,036,801 224,080 0 1,815,830 6,094,824 2,176,336 1,181,378 93,820 441,841 22,174 437,123 19,178,087 222,750 0 62,010 149,727 556,508 529,853 756 1,001,791 225,655 11,222,048 9,885,645 1,336,403 254,415 504,000 1,336,400 1,912,778 20,006 61,290 1,118,100 1,010,293 54,999 528,843 0 426,451 74,495,849 1,510,716	51,489,535 30,399,877 24,062,673 262,584 240,000 787,448 720,000 1,080,000 740,000 365,000 1,298,309 843,863 5,254,224 2,679,000 5,463,850 5,175,480 247,410 40,960 1,940,850 5,751,734 1,993,787 1,259,401 70,140 179,462 24,788 459,996 18,055,260 214,474 26,980 54,110 135,784 706,442 614,044 61,708 1,050,475 573,785 9,964,423 8,695,743 1,268,680 199,806 504,000 1,118,900 1,892,468 58,671 60,290 768,900 1,240,972 55,000 525,444 239,760 420,768 72,779,554 △ 1,194,969	641,598 122,121 979,348 4,176 0 36,392 △ 40,000 △ 60,000 60,000 1,000 △ 583,674 △ 275,121 330,376 174,000 △ 202,969 △ 138,679 △ 23,330 △ 40,960 △ 125,020 343,090 182,549 △ 78,023 23,680 262,379 △ 2,614 △ 22,873 1,122,827 8,276 △ 26,980 7,900 △ 36,057 △ 149,934 △ 84,191 △ 60,952 △ 48,634 △ 348,130 1,257,625 1,189,902 67,723 54,609 0 217,500 20,310 △ 38,665 1,000 349,200 △ 230,679 △ 1 3,399 △ 239,760 5,683 1,716,295 2,705,685
収 益	受取利息配当金収益 その他のサービス活動外収益 受入研修費収益	145 142,600 11,500	113 129,780 12,500	32 12,820 △ 1,000

<別表9>

101 社会福祉法人 聖母会

深谷保野地域ケアプラザ

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減	
サ外 増 減 スの 活動 部動	収益	雑収益 その他雑収益 サービス活動外収益計(4)	131,100 131,100 142,745	117,280 117,280 129,893	13,820 13,820 12,852
	費用	その他のサービス活動外費用 サービス活動外費用計(5)	0 0	0 0	0 0
		サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	142,745	129,893	12,852
		経常増減差額(7) = (3) + (6)	1,653,461	△ 1,065,076	2,718,537
		特別収益計(8)	0	0	0
		固定資産売却損・処分損 特別費用計(9)	0 0	0 0	0 0
特別 増減 の部		特別増減差額(10) = (8) - (9)	0	0	0
		予備費	0	0	0
		税引前当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	1,653,461	△ 1,065,076	2,718,537
		法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0
		過年度法人税等(13)	0	0	0
		法人税等調整額(14)	0	0	0
継差 越額 活の 動部 増減		過年度法人税等調整額(15)	0	0	0
		当期活動増減差額(16) = (11) - (12) - (13) - (14) - (15)	1,653,461	△ 1,065,076	2,718,537
		前期繰越活動増減差額(17)	12,037,407	13,102,483	△ 1,065,076
		当期末繰越活動増減差額(18) = (16) + (17)	13,690,868	12,037,407	1,653,461
		基本金取崩額(19)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(20)	0	0	0
		その他の積立金積立額(21)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(22) = (18) + (19) + (20) - (21)	13,690,868	12,037,407	1,653,461

深谷保野地域ケアプラザ拠点区分 貸借対照表

第三号第四様式

令和2年3月31日現在

深谷保野地域ケアプラザ

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	25,512,358	17,303,326	8,209,032	流動負債	14,623,020	8,813,372	5,809,648
現金預金	19,578,905	12,470,932	7,107,973	短期運営資金借入金	0	0	0
事業未収金	5,587,607	4,506,063	1,081,544	事業未払金	10,473,349	4,420,327	6,053,022
未収金	0	7,649	△ 7,649	その他の未払金	0	0	0
未収補助金	0	0	0	1年内返済予定リース債務	0	239,760	△ 239,760
未収収益	0	0	0	未払費用	0	0	0
貯蔵品	0	0	0	預り金	0	7,012	△ 7,012
医薬品	0	0	0	職員預り金	0	383,393	△ 383,393
診療・療養費等材料	0	0	0	前受金	0	0	0
給食用材料	0	0	0	前受収益	0	0	0
商品・製品	0	0	0	事業区分間借入金	91,471	24,780	66,691
立替金	0	0	0	仮受金	0	0	0
前払金	0	0	0	未払法人税等	0	0	0
前払費用	278,390	289,772	△ 11,382	未払消費税等	1,205,200	1,059,100	146,100
短期貸付金	0	0	0	賞与引当金	2,853,000	2,679,000	174,000
拠点区分間貸付金	67,456	28,910	38,546	その他の流動負債	0	0	0
仮払金	0	0	0	固定負債	7,627,760	6,316,690	1,311,070
その他の流動資産	0	0	0	設備資金借入金	0	0	0
△徴収不能引当金	0	0	0	長期運営資金借入金	0	0	0
固定資産	10,429,290	9,864,143	565,147	リース債務	0	459,540	△ 459,540
基本財産	0	0	0	退職給付引当金	7,627,760	5,857,150	1,770,610
土地	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
建物	0	0	0	負債の部合計	22,250,780	15,130,062	7,120,718
定期預金	0	0	0	純資産の部			
投資有価証券	0	0	0	基本金	0	0	0
その他の固定資産	10,429,290	9,864,143	565,147	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
土地	0	0	0	次期繰越活動増減差額	13,690,868	12,037,407	1,653,461
建物	0	0	0	(うち当期活動増減差額)	1,653,461	△ 1,065,076	2,718,537
構築物	0	0	0	純資産の部合計	13,690,868	12,037,407	1,653,461
機械及び装置	0	0	0	負債及び純資産の部合計	35,941,648	27,167,469	8,774,179
車輌運搬具	1	55,000	△ 54,999				
器具及び備品	1,522,048	1,887,761	△ 365,713				
建設仮勘定	0	0	0				
有形リース資産	0	699,300	△ 699,300				
権利	0	0	0				
ソフトウェア	1,251,481	1,336,932	△ 85,451				
無形リース資産	0	0	0				
長期貸付金	0	0	0				
退職給付引当資産	7,627,760	5,857,150	1,770,610				
差入保証金	28,000	28,000	0				
長期前払費用	0	0	0				
その他の固定資産	0	0	0				
資産の部合計	35,941,648	27,167,469	8,774,179				